

# 陽だまり

No.1  
2023.6月  
(隔月発行)

陽だまり 宗教2世支援ニュースレター



シリーズ: 宗教2世支援のあり方①

## 宗教2世が抱える課題の差異

### INDEX

- ニュースレター「陽だまり」創刊にあたって  
理事長 秋本弘毅・・・2
- シリーズ: 宗教2世支援のあり方①  
～ 宗教2世が抱える課題の差異・・・3
- 陽だまりに寄せられた相談の概況  
(2023年3月～5月)・・・4

- 当事者の声・・・5
- クラウドファンディングのお知らせ・・・6
- 陽だまり活動報告・・・7
- インフォメーション・・・8
- サポーター募集・・・8
- 編集後記・・・8

# ニュースレター「陽だまり」創刊にあたって

(一社)宗教2世支援センター陽だまり 理事長 秋本 弘毅



昨年10月から計画していた、宗教2世支援のための非営利法人組織の設立が、皆さまのご支援のおかげで現実のものとなりました。

**深く御礼申し上げます。**

当初において、NPO法人としての設立を検討していたのですが、2点の理由で難しくなりました。

① NPO法人の場合、最低10名の設立社員の方のお名前と住所を公開しなければならない。

宗教2世支援活動の場合、ご協力される方々の多くは家族もしくは教団との間で懸案を抱えている場合が多く、名前や住所をオープンにできる人を10名も集めることは難しい。

② NPO法人の場合、提出書類や役所とのやり取りが非常に多く、設立までに半年はかかると予想される。

それだけの時間をかけるより、より少ない人数で短い期間に実現できる法人形態として「非営利型一般社団法人」が、現時点ではベストな選択ではないかと話し合い、このような形でスタートしました。

前記にあるように、スタッフの方々の多くが宗教2世の当事者であり、宗教2世としてのそれぞれの悲哀も経験されています。さらに、現在進行形で信者である親との間の関係性に問題がある場合も少なくありません。

その分、より深く宗教2世の相談者にコミットできるという**メリット**もあります。外部からはうかがい知れない、独特の状況、また抱えがちな考え方やその傾向などについても、なぜそうなるかまでを含めての理解がありません。

加えて、当事者が抱える課題をある場合自力で、ある場合は、支援を受けながら克服した経験を持っています。さらにそういった当事者同士の強い横のつながりもあります。また、専門家の協力から、それらをより客観的に見ることもできます。これらはサポートの必要な宗教2世の方々の助けになるでしょう。

このニュースレターでは、そういった活動についての**報告**や、またその支援に必要な**情報の提供**、さらに**今後の展開**など幅広くお伝えしていく予定です。当法人と同時にこのニュースレター「陽だまり」の方もよろしくお願いたします。

# シリーズ: 宗教2世支援のあり方①

## ～ 宗教2世が抱える課題の差異

当法人は3月5日、「宗教2世支援－どうあるべきか」というパネルディスカッションを開催し、旧統一教会・エホバの証人・創価学会・その他の背景を持つパネリストと等身大でリアルな「宗教2世」への支援について考えました。その様子を4回のシリーズで紹介していきます。第一回目のテーマは「宗教2世が抱える課題の差異」について――



「宗教2世」の状況や課題は、教団による差異もあれば同じ教団内でも温度差が見られます。それぞれの団体の課題を議論しました。

**旧統一教会**の場合は組織内での結婚の強要や恋愛の制限、親の高額献金による生活への影響、発達障害や精神障害を発症した場合の処遇の問題などの特徴があり、脱会後の進学・就職・住宅の保証人問題、心のケアに関する課題が挙げられました。

**エホバの証人**の場合は、輸血拒否や忌避、ムチによる体罰に加え、自己決定能力形成前の幼少期から自分の意思として学校行事の参加を拒否するなど社会と対峙し、その後も部活動や進学、就職など社会での自己実現をあきらめるよう求められることが特色で、選択肢のない状況下で社会人としてのスタートラインの出遅れを感じても、社会でそれは

「自己責任」と見なされる、その折り合いの付け方が課題として挙げられました。

**創価学会**の場合もケースによっては他教団と同じく体罰や献金等の問題もありますが、時代や地域、家庭によって様相は大きく異なります。注目されるのは選挙活動に対する強制で、幼いうちから成人したらどの党に票を入れるかを決められていることが挙げられました。

いわゆるカルトと呼ばれる教団だけではなく、**伝統宗教の2世**も似たような悩みを抱えている場合があります。また**自己啓発セミナー系の団体**等、世間にあまり知られていないような小さな団体もあり、その団体の特徴により、必要とされる支援のレベルの深さや幅に違いがあります。

様々な差異はあり、問題は複雑で、一概に解決策を提示することはできませんが、共通していえるのは「**子どもたちの基本的な人権が侵害されている**」ということで、それに対して支援をしていく必要があるでしょう。



この詳細は、公式サイト「活動レポート」内 資料室の [テキスト](#)

(◀QRコード) または公式YouTube [動画](#) (QRコード▶) をご覧ください。



# 陽だまりに寄せられた相談の概況

2023年3月～5月



## 1. 最も多い「家族の悩み」

相談内容で最も多かったのが「家族の悩み」でした。相談数全体で見ますと43%と半数近くあり、信者家族で多かったのが母親（70%）ですので、合わせて考えると宗教家庭の信者である母親との関係から来る悩みというものが見えてきます。

特に信者である母親の宗教活動への熱心さから、宗教2世に多くの圧力を加えたり、厳しい制限があったり、あるいは虐待されたというものもありました。

さらに、熱心な母親の宗教活動からの影響（献金や家庭内不和、家庭をないがしろにするなど）の相談も見られます。

これらが、宗教2世にどのような影響を与えるかは、2番目に多く挙げられていた「メンタルに関する悩み」に見られます。カウンセリングや精神科への通院も多くありました。

## 2. 「自分のことを聞いてほしい」

3番目に多かったのは、「自分のことを聞いてほしい」と「虐待などについて」（両方とも17.8%）でした。

前者は、多くの宗教2世の方々が自分の悩みを誰にも言えない、あるいは言ったとしても誰にも理解してもらえないという現状を示しています。相談の第一声が「今まで誰にも言ったことがない」「初めて自分のことを話せた」というご相談者は多かったです。

特に親、友だち、学校、カウンセラーや精神科の医師などに自分の状況や気持ちを伝えても、ほとんど理解してもらえなかったという意見も見られました。

先に述べたメンタル面での問題と合わせて考えるとやはり、宗教2世を孤立させない、安心して、また理解力をもって接せられる環境を作ることの重要性を認識させられます。さらに宗教2世に接する方々への理解促進は非常に大切と思われまます。

## 3. さまざまな虐待

後者の「虐待」についても、かなりのご相談がありました。報道で有名になっている宗教団体の虐待についてもあるほか、いわゆる“普通の”宗教団体と思われる宗教2世からも親もしくは団体の指導者から虐待と思われる内容（直接の暴力や心理的虐待など）を受けたというご相談もありました。

虐待を受けた時期についても、（過去の）子ども時代から大人になった現在も続いているものまでさまざま、単純な教義だけでなく、宗教という相手より力関係が上になる環境下で生じる構造的な問題も透けて見えているように思えます。

# 当事者 の声

## 話を聞いてもらえる場所を

福本様

私がエホバの証人をやめたのは40代になってからです。妻も同時にやめ、職場の変更もなかったもので、まだ恵まれていました。

ただやめた後に自分が今どんな状況でどうすれば良いのかわからず、充実した人生を送っている元二世の先輩を見て、あせりや無力感を感じました。

やめたときに個人的に話を聞いてもらい、今の自分の状況や必要な変化について教えてもらえたら、もっと自信をもって次の人生を踏み出せたのかも、と今感じます。

やめた時には孤独感も強く感じますので、話を聞いてもらい、自信を持たせてもらえる相談場所が増えることを願っております。

## やっと声があげられる

〇様

現在の宗教2世に関する報道を見て、私がかつて40年前に子供だった頃に親の宗教を強制されて嫌だということを叫ぶ場所がなくて辛かった事を思い出します。

やっと今、その当時の辛かった体験等に対して声を上げる事が出来るようになりました。

かつての子供だった今の大人の2世たち、現在を生きる2世や3世の子供たちにこれ以上辛い思いをさせてはいけないと思い、私も出来る限り宗教2世支援活動をしている方達に協力や応援をしたいです。

それによって、かつて40年前に子供だった私も救われることを信じています。これからも皆様の活動を応援させていただきます。

## 陽だまりの活動に望むこと

山田花子様

私がエホバの証人の組織を離れて30年ほどが経過しました。図らずも昨年の安倍元首相襲撃事件をきっかけに宗教2世関連問題が顕在<sup>けんざい</sup>化し、関係者の動きが一気に加速したようです。2世の方々が宗教をやめて一般社会に出ていく際には独特の様々な困難がありますが、「陽だまり」の諸活動によりそのような方々の負担が少しでも軽くなればと考えます。また、その活動で得た知見をまとめて分析し発信することにより、今後の2世問題解決に生かすことができると考えます。試行錯誤の日々ですが、少しずつ前進できればと思います。

# 宗教2世が ひとりで 悩まない 社会にしたい。

一般社団法人宗教2世支援センター陽だまりがクラウドファンディング挑戦中

第一目標金額 **300万円** 2023年 6月 1日 (木)~ 7月 30日 (日) まで

## 悩む宗教2世を救いたい！

## 支援体制強化で「相談できる場所」を広げたい

※本プロジェクトは All or Nothing方式のため、募集終了日までに目標金額に到達しなかった場合、いただいたご支援は返金いたします。

安倍元首相銃撃事件から1年が経とうとしています。  
事件を機に、旧統一教会を中心とした宗教2世問題がクローズアップされました。

当事者団体として20年以上活動してきた「エホバの証人ピアサポート陽だまり」(任意団体)には、多くの宗教2世の方やその声を聞いてこられた関係者から、「宗教2世支援のための非営利団体を立ち上げてほしい」という声が寄せられました。

そこで今年1月16日、より多くの方を支援する体制や専門性を担保し、行政との連携なども視野に入れ、一般社団法人 宗教2世支援センター陽だまりを設立しました。

これまで手弁当で活動してきましたが、支援活動をより広げていくための体制づくりや広報活動へのご支援をお願いしたく、クラウドファンディングを立ち上げました。

長い間の取り組みの経験と蓄積を活かし、宗教2世として悩む方々への十分な支援活動を展開していきたい所存です。温かいご支援をよろしくお願いいたします。

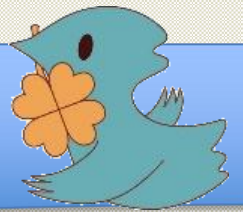
宗教2世支援 レディーフォー

 READYFOR

お問い合わせ先 一般社団法人宗教2世支援センター陽だまり 担当：秋本  
E-mail: [info@nisei-hidamari.org](mailto:info@nisei-hidamari.org) TEL:050-3046-6745  
<https://readyfor.jp/projects/niseihidamari>



# 陽だまり 活動報告



## 運 営

現在、メンバー間のやり取りにおいてLINEを主に使っていましたが、発言が時系列のままでは新規の方が過去の発言にアクセスできないなどの問題があり、メンバーの方からご提案いただいたビジネスチャットツールSlackの方に移行するかどうか試用しながら検討しています。また、クラウドファンディングも現在進行中です。こちらも、もし目標金額に達すれば事務機能の強化、対面相談場所の確保、常駐スタッフの配置など、より宗教2世支援ができる体制になっていくと思われまますので、ぜひご理解ご協力いただけましたら幸いです。

## 相 談

電話、LINE、Twitter、メールを使用して、相談対応をしています。現在、様々な宗教2世、または関係者からの相談をいただいております。相談員は現在15名です。相談員の中には、宗教2世として育ち、長年宗教2世の相談に対応してきたものや、公認心理師、臨床心理士の資格を持ち、仕事をしているものもおります。現在相談員の質の向上のために相談対応のシミュレーションを個別に行っております。相談員同士が協力して相談にあたるようシステムの整備も進めています。皆さんの相談を一同お待ちしております。

## 自助支援

宗教2世の「生きづらさ」を一般の方から理解してもらうことが難しく、専門的な支援を行える人も絶対的に少ない状況の中で、依然として当事者同士が「自助」で支え合う現状が続いています。

自助支援グループでは、オンライン自助グループ（クローズド）やオフ会開催等を通じて、当事者の孤独・孤立対策やコミュニティ創出を図っていきます。

## オ フ 会

5月後半に相談者限定の陽だまりオフ会を東京で開催致しました。

宗教関係のオフ会は今までも沢山ありますが、口コミでメンバーを集めることが多いために、初めての方が情報を集め、さらに自分に合う場かどうかを考えることは難しいと感じています。

団体公式の会として安心と安全を提供出来るオフ会を運営して参ります。

## セ ミ ナ ー

6月16日「宗教2世問題について考える」というセミナーを、東京都文京区において、理事長秋本と自助グループちざわりんがスピーカーとなって行います。多くの関係者の方々に宗教2世について、また支援の必要性について理解が広がっていくことが大切です。

前身の任意団体から20年以上の取組みから得られた支援の実情を伝えられたらと思っております。

## 情報収集

現在、情報収集グループでは、「陽だまり」に相談が寄せられることが多い複数の教団で使われている特殊な用語などの用語集を作成しています。用語集の主な目的は、相談者の方のお話や文章に特殊な用語が出てきた際にも、スムーズに相談が進むよう、相談員の助けとなることです。今後、相談の記録が蓄積されていくにつれて、相談支援の場で登場する教団用語の傾向が分かっていくと思われまます。それらの用語の分析や整理を含めて、相談内容に関する分析やその報告の公表なども担っていく予定です。

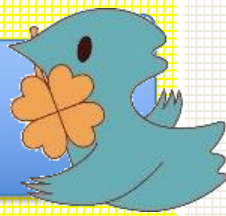
## 広 報

現在、広報グループでは

- ①公式サイトの構築・コンテンツ内容の充実
- ②ニュースレターの企画・編集・発行
- ③Facebook、Twitter、YoutubeなどSNSを通しての情報発信・拡散
- ④行政・公教育・福祉関係機関、NPO法人等各種支援団体との繋がり作り

を中心に活動しています。

様々な媒体を通して、宗教2世支援に関する知見や役立つ情報の発信と拡散、既存の各種支援団体との連携づくりを進めてまいります。



5/28(日)、陽だまり相談者限定の少人数  
オフ会を東京のレンタルルームで実施いたし  
ました。



今後、陽だまりオフ会は首都圏のみにとどま  
らず、関西など各地で開催していく予定です。

現在、次号以降のニュースレターに掲載する  
当事者の声を募集しています。

＜内容＞

宗教2世としてどのようなことを感じたり、  
どのような支援が欲しかったか、またはどの  
ような支援に救われたか

文字数：250字～270字前後

＜要項＞

- ・採用、不採用、何月号に掲載となるかは  
未定で基本的に通知はいたしません。
- ・希望のハンドルネームを記載（匿名可能）
- ・所属団体名の付記の有無も問いません。
- ・下記の公式メールまたはTwitterのDMに  
「当事者の声応募」としてお送りください。

## サポーター募集

陽だまりでは、「宗教2世」のよりよい環境  
をつくるための応援サポーターを募集してい  
ます。クラウドファンディング（R5.6.1  
～7.30）での皆様からのご支援を心よりお待  
ちしております。

なお、一緒に活動してくれる仲間も募集して  
います。入会をご検討される場合は、下記の  
公式メールよりご連絡ください（会員には  
定款により一定の要件があります。要件に合  
わない場合、お断りする場合があります）。  
折り返し申込書を送付いたします。ご記入の  
うえ、お申し込みください。

## 編集後記

小学生の頃、学級新聞係になったことがあり  
ます。何を書いたか全く覚えていませんが、  
くだらないことを手書きで一生懸命書いた気  
がします。あれからはや35年…今は機関誌  
作成に便利なツールがいろいろあるんですね。  
まだまだ使いこなせておらず、素人編集でつ  
たない部分ばかりですが、様々な方のご協力  
のもとに作り上げました。この場を借りてご  
協力下さった皆様にお礼を申し上げます。  
読者の皆さま、お読みになってのご感想・ご  
意見・エピソードなどお聞かせいただければ  
幸いです。次号は8月発行予定です。

お楽しみに。

(担当S)

【一般社団法人 宗教2世支援センター陽だまり】

☐TEL 050-3046-6745 ☐E-mail [info@nisei-hidamari.org](mailto:info@nisei-hidamari.org)

☐HP <https://nisei-hidamari.org/> ☐Facebook <https://www.facebook.com/niseihidamari>

☐Twitter <https://twitter.com/niseihidamari> ☐Youtube <https://www.youtube.com/@hidamari-2sei>

